

監督・競技者注意事項

1. 本大会は2020年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 練習は、トラックの外側を使用する。ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、出場確認後、役員の指示に従って行うものとする。（競技運営に支障を来さない限り、本トラックを一部開放する。ただし、競技役員の指示に従うこと。）
3. 競技場は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以内、ただし走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。
4. 招集について
 - ① 本競技会では招集所での招集（いわゆる第1次コール）は行わない。
 - ② 集合時刻（競技順序に記載）に競技場所へ集合し、現地でチェックを受けること。
 - ③ 集合時刻に競技場所にはない競技者は当該種目を欠場したものと処理する。
 - ④ トラック競技の腰ナンバー、特別アスリートビブスは、プログラムでレーンを確認した後、招集所から各自で持っていくこと。（招集所は本部ダッグアウト内に設ける）なお、本競技会に限り、腰ナンバー、特別アスリートビブスともに返却せず、各自で持ち帰ること。また、腰ナンバー用も含め、安全ピンは各自で用意すること。
※円滑に競技を運営するために、欠場を決めている競技者は競技会開始1時間前までに本部にその旨を申し出ること。
5. アスリートビブスは2枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか1枚でよい。
6. トラック競技の組・レーン、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。
7. リレー競技について
 - ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、集合時刻の80分前までに招集所に提出すること。その後、集合時刻に各走者のスタート地点付近でチェックを受けること。
 - ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一した物を着用することが望ましい。
 - ③ 記録会のリレー競技に出場した1・2年は、地区予選のリレー競技に出場することができない。
8. 競技方法
 - <トラック競技>
 - ① トラック競技は全て電気計時で行う。
 - ② スタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで、失格とする。
 - ③ イエローカード（以後、YCと称す）に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。
 - (ア) 第162条5の規定により (a) (b) (c) いずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
 - (イ) 同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。
 - ④ 男子5000m・女子3000m・男女5000mWは、特別アスリートビブスを使用する。
 - ⑤ 男子5000mは20分、女子3000mは13分、男女競歩競技は40分で残り1周を通過できない場合競技を終了する。
 - <フィールド競技>
 - ① バーの上げ方は以下のとおりとする。

男子走高跳	最初の高さは係員の指示による。その後、1m75までは5cmずつ上げる。
女子走高跳	最初の高さは係員の指示による。その後、1m45までは5cmずつ上げる。
男女棒高跳	係員の指示による
 - ② 11位決定のためのバーの上げ下げは、棒高跳では5cmとする。
 - ③ 走幅跳、三段跳、投てき競技は、試技を3回とする。

9. 棒高跳用ポール・投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。但し、承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。(棒高跳用ポールは該当役員の検査とし、投てき用具は検査時間内に器具庫前で公式計測員の検査を受ける。) なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

★投てき用具の検査時間 両日とも 8:45～9:15

10. 県大会進出について

- ① 本予選会で走高跳を除く各種目の11位までが、9月19・20日に横浜市三ツ沢公園陸上競技場、26・27日に県立スポーツセンター陸上競技場で開催される神奈川県高等学校新人陸上競技大会に出場できる。走高跳については、本予選会で以下の標準記録を突破した者が県大会へ出場することができる。

男子：1m75 女子：1m45

- ② 令和元年度神奈川県高等学校新人陸上競技大会8位入賞者(リレーを除く)で、シード権を行使するものは、入賞種目に限り直接県大会に出場できる。ただし、その種目で予選会に出場した者は、上位11位に入らない場合、県大会へ出場できない。
- ③ トラック種目の11位の決定において、同タイムで写真判定を細部(電気計時1/1000)まで読み取り、優劣が判定できず着差が無い場合、出場枠にプラスして県大会へ出場できる。
- ④ 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技において11位が複数出た場合、出場枠にプラスして県大会へ出場できる。
- ⑤ 各地区での県大会出場枠に参加者が満たない種目(走高跳を除く)の出場権については、集合時刻にチェックをうけたことにより、県大会の出場権を獲得したこととする。ただし、出場枠以上で競技が開始された場合、失格等があつて出場枠に満たなくなった時の補充はしない。
- ⑥ リレー競技で県大会出場を決めたチームは、メンバー変更の有無にかかわらず再度本部にて申し込みを行うこと。
- 男女4×100mR：9月6日(日)8:30まで
男女4×400mR：競技結果の正式通告後
- ⑦ シード選手のオープン参加は認めない。

11. その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合は、8:30までに本部まで申し出ること。
- ③ 参加各校の生徒役員(各校2名以上)は、8:15に本部前に集合すること。
- ④ 待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドのみとする。ただし、写真判定室周辺および本部ダッグアウトから3ブロックはテントの設置を禁止する。
- ※不入斗公園内のプール・体育館・野球場周辺を待機場所には絶対にしないこと。**
- ⑤ 正面スタンド前の手すりをまたぎ越してはならない。
- ⑥ 応援はスタンドで行うこと。トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。
- ⑦ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。
- ⑧ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。
- ⑨ 競技場の開門は7:30(予定)とする。それ以前には入場しないこと。
- ⑩ 競技場の使用は17:00までとするが、それ以前であっても競技会終了後は、直ちに退場すること。
- ⑪ **準備、片付けは両地区の参加各校で協力して行う。**
- ⑫ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。

◆競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

◆撮影に関するお願い（学校関係者のみなさま）

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

- ① 撮影は全て、スタンドから行ってください。
- ② 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。
例・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。
 - ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
 - ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
 - ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
 - ・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
 - ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。
- ③ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。
- ④ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただく場合があります。
- ⑤ 競技運営上、競技役員判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
- ⑥ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員指示に従ってください。

盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。

◆競技場への入場および待機場所について

- ① 各校の待機場所は専門委員会の責任抽選により事前に割り振ります。待機場所確保のために並ぶ必要はありません。
- ② 各校顧問の先生方は会場準備をお願いします。